八尾市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）【改定計画】（素案）に対する市民意見提出制度（パブリックコメント）の 実施結果と市の考え方について

「八尾市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）【改定計画】」を策定するにあたり、八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例第12条の規定に基づき、素案を公表し、市民意見提出制度（パブリックコメント）を実施しましたので、その結果と提出された市民意見に対する市の考え方を公表します。

ご提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわない程度で要約しております。

1. 意見募集期間

令和7年1月21日（火）～令和7年2月20日（木）

2. 提出方法別の提出人数及び意見件数

提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
直接持参	3	5
電子メール	0	0
F A X	0	0
郵便	0	0
電子申請	4	4
合計	7	9

3. 意見概要と市の考え方

番号	掲載ページ	項目	意見の要約	市の考え方
1	P10	表2-1 家庭系ごみの分別区分・排出方法・収集頻度	ペットボトルの回収を月2回に増やしてほしい。 段ボール回収を市で行ってほしい。町会や子ども会に入会しないと回収日が分からないのは不公平ではないか。	現在、本市では、市内を4つの地区に分けて、計画的に収集を行っております。 ペットボトルの収集回数は、分類ごとの収集量の推移を検証しながら、検討してまいります。 また段ボールは、市で収集は行っておらず、町会や子ども会等の団体が実施している集団回収を活用したりサイクルを呼び掛けており、実施団体が指定する場所・日時については、町会等への加入にかかわらず、市でもご案内しております。市の収集につきましては、今後の課題として検討してまいります。
2	P39	第5節 1 資源化の推進と適正処理、効率的かつ効果的な分別収集体制等の整備 ④ カラス等の鳥獣によるごみの散乱被害対策に関する情報発信	カラス等の鳥獣によるごみの散乱被害対策に関する情報発信について・カラス除けネットを使用していますが、くちばしを上手に使ってネットをめくりゴミをあさります。 金属製ネットの配布をお願いします。 子供が襲われたことがあります。 情報発信だけでなく駆除も必要と考えます。	カラスによる被害対策については、市のホームページなどで周知啓発を行っており、実費でネットやごみのボックスなどを設置していただいております。 今後も、効果的な対策の取り組みと周知啓発について、引き続き検討してまいります。

3	P40	<p>第5節 4 不法投棄の防止</p>	<p>不法投棄等の防止と資源物等の抜き取り、持ち去り行為への対策の推進について、取り締まりの強化と併せて、法的な対策も必要と考えます。</p> <p>国への働きかけもお願いします。</p>	<p>本市では、家庭用指定袋（青色）にて排出されているものは、市が収集するものとして、持ち去り行為等について、条例で禁止しております。</p> <p>持ち去り行為等への対策として、市民からの情報提供等をもとに、収集日に合わせて巡回パトロールを行うとともに、行為者を現認した場合には、指導・警告及び抜き取った資源物・複雑ごみ等の回収を行っております。</p> <p>今後も抜き取り行為等の防止のため、関係機関との連携も含め、引き続き指導・啓発に努めてまいります。</p>
4	P39	<p>第5節 1 資源化の推進と適正処理、効率的かつ効果的な分別収集体制等の整備</p> <p>④ カラス等の鳥獣によるごみの散乱被害対策に関する情報発信</p>	<p>カラス対策のカバーする網を各家庭に配ってほしい。</p>	<p>カラスによる被害対策については、市のホームページなどで周知啓発を行っており、実費でネットやごみのボックスなどを設置していただいております。</p> <p>今後も、効果的な対策の取り組みと周知啓発について、引き続き検討してまいります。</p>
5	P40	<p>第5節 4 不法投棄の防止</p>	<p>資源物等の抜き取り、持ち去り行為への対策を推進してほしい。</p>	<p>資源物の抜き取り行為等については、市民の方からの情報をもとに定期的に巡回パトロールを行い、抜き取り行為者へ直接、指導啓発を行っております。今後も関係機関とも連携しながら、継続的に指導・啓発に努めてまいります。</p>

6	P37	<p>第4節 基本方針 IV 家庭系ごみの減量・ 資源化施策の推進</p>	<p>本市の財政状況を考えれば、環境教育施策の実施方法を見直すべきである。</p> <p>現在、市職員が環境出前講座や環境学習施設「めぐる」の運営に関わっているが、この業務を市職員が担う必要性は低く、シルバー人材センターや再雇用職員、ボランティアなどを活用することで、コスト削減と市民の主体的な関与を両立できる。特に、出前講座の講師や施設運営には、地域の経験豊富な人材を活用する方が適している場合も多い。</p> <p>また、環境教育の効果がどの程度あるのか明確な検証がなされていない以上、現状の施策を続けることには疑問が残る。</p> <p>限られた財源は、直接的なごみ減量施策等に充てるべきであり、費用対効果の低い業務は大胆に見直すべきである。</p> <p>さらに、環境学習施設「めぐる」についても、利用実績や維持費を精査し、必要性が低いと判断されれば廃止を含めた見直しを進めるべきだ。</p> <p>財政健全化の観点からも、現業職員の給与削減（池田市などは行政職俸給表（二）に準じた技能職給料表を導入）や配置転換を検討し、持続可能な形での施策運営を進める必要がある。</p>	<p>本市では、環境総合計画において、「市民・事業者・教育機関との協働の取組等を推進していくことにより、子どもから大人までの一人ひとりが高い環境意識を持ち、全ての主体が環境保全活動に参加し、将来の世代に豊かな環境を守り引き継ぐまち」をめざすことを基本方針の一つに掲げており、当該計画における行政の取組みとして、小中学校、市民・事業者を対象とした環境教育・学習を推進しております。具体的な取組みとして、事業者や教育機関と連携し、本市の特性を活かすことができる環境教育を推進することを掲げており、本市職員だけでなく、専門性の高い事業者や市民団体等との連携により各種講座などを実施しております。</p> <p>環境教育については、子どもから高齢者に至るまで環境に関心を持ち、環境問題について考え行動する人材の育成を図るため、継続的に取組みを進める必要があるものと認識しております。</p> <p>また、学習プラザ「めぐる」については、本市の環境啓発活動の発信拠点として、関係機関と連携した講座の実施や動画発信など、さまざまな手法を通じた環境啓発に努めてまいります。</p> <p>なお、職員の配置換えを行うとともに、現在、現業職員の給与制度見直しを検討しております。</p>
---	-----	---	---	--

7	P30	<p>第1節 2 ごみ・環境問題に関する情報発信の充実 ② 対象を明確化した情報発信</p>	<p>転入者等、本市へ初めて住む人への情報発信については、転入後2か月程度で訪問聞き取り型のアンケート調査などを実施してみてもどうか。 八尾市独自の分別ルールや時期のことなどを、チラシ等の周知啓発だけでなく、個別に対面で相談に乗ることで、ごみ・環境問題への理解が進むと思う。</p>	<p>転入者向けに、ごみの分け方・出し方ハンドブックや、ごみ収集カレンダーを用いて、対面にて説明を行っております。また、市HPや八尾市の生活応援アプリ「やおっぷ！」で周知啓発を実施しております。今後も引き続き、正しいごみの分別・排出方法の効果的な周知啓発に努めてまいります。</p>
8	P39	<p>第5節 1 資源化の推進と適正処理、効率的かつ効果的な分別収集体制等の整備 ⑧ 日本語以外を母国語とする市民へのごみの分別及び減量に関する啓発</p>	<p>八尾市は大阪府下で4番目に在日外国人が多く住むと聞いている。在日韓国・中国・ベトナム・フィリピンなど、具体的に日本語教室のリーダーの協力を得ながら、八尾市での暮らしやすさを実現できるようにしてほしい。</p>	<p>在日外国人の転入者や居住者に向け、転入手続きの際に外国語版のごみの分け方・出し方ハンドブックや、ごみ収集カレンダーを用いて、対面にて説明を行っており、市役所本庁舎の配布窓口では、必要に応じて通訳による説明も行っております。また、市HPで外国語版のごみの分け方・出し方ハンドブックや、ごみ収集カレンダー等を掲載し、周知啓発を行っております。今後も引き続き、正しいごみの分別・排出方法の効果的な周知啓発に努めてまいります。</p>
9	P47	<p>第4節 1. 市民に向けた食品ロス削減の推進に係る普及啓発</p>	<p>「市民に向けた食品ロス削減の推進に係る普及啓発」とされているが、日常の生活で、どのように生活のルールや購買時のポイントを変えていけば良いのか具体的にわかりません。 中学校等の学校生活の中で、食品ロス削減の具体的なルールや生活モデルを試行し、その成果を公表するなど、食品ロス削減につながる市民の生活スタイルを構築する取り組みが必要だと思う。</p>	<p>一人ひとりが自発的に食品ロスを発生させない行動を起こすことができるよう、家庭用指定袋の配布の際の同封チラシ、市HPや市政だよりなどの広報媒体を活用しながら、周知啓発を進めてまいります。 また、学校園等の関係部局とも連携し、環境教育の中においても、食品ロスの削減、ごみの減量・適正な分別排出等についての周知啓発に努めてまいります。</p>